

4月27日の学習会の様子です テーマ:「口腔ケアと誤嚥性肺炎予防について」

高齢になると、熱が上がりにくくなり肺炎になっても自分では気づきにくいものです。

誤嚥性肺炎とは？

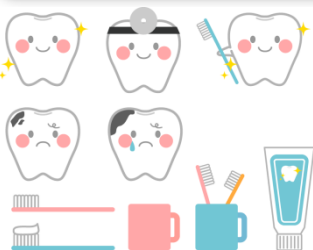
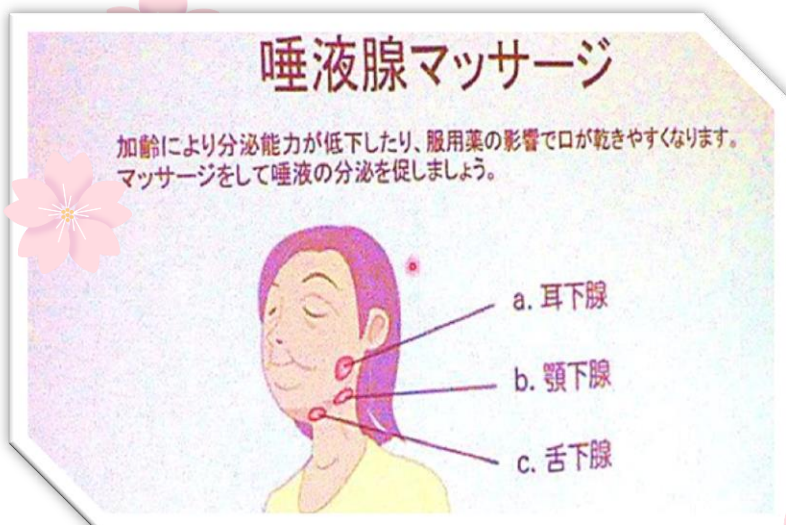
気管に入ってはいけない物が気管に入り(誤嚥)そのため生じた肺炎。老化や脳血管障害の後遺症などによって飲み込み機能(嚥下機能)や咳をする力が弱くなると、口腔内の細菌、食べかす、逆流した胃液などが誤って気管に入りやすくなります。

その結果、発症するのが誤嚥性肺炎です。高齢者の7割が誤嚥性肺炎です。体力の弱まっている高齢者では命にかかわる事も有ります。

誤嚥そのものは完治する事が難しい為、口腔ケアにより細菌や食べかすを減らし、口腔の清潔を保ちましょう。

普段の歯磨きに加えて、アルコールが入っていないデンタルリンスも使用してみましょう。(アルコールが入っているデンタルリンスは口腔内を乾燥させる作用があり唾液を減らします。)

そして、普段から唾液を出すマッサージをして唾液を出して誤嚥性肺炎を防ぎましょう!特に寝る前にマッサージをしましょう。



感染対策をしっかりとした上で、12人の方のご参加でした。
5月も元気にお会いしましょう!